

第 5 期科学技術基本計画の推進に向けて

（第 54 回科学技術・学術審議会総会提出資料）

平成 28 年 4 月 26 日

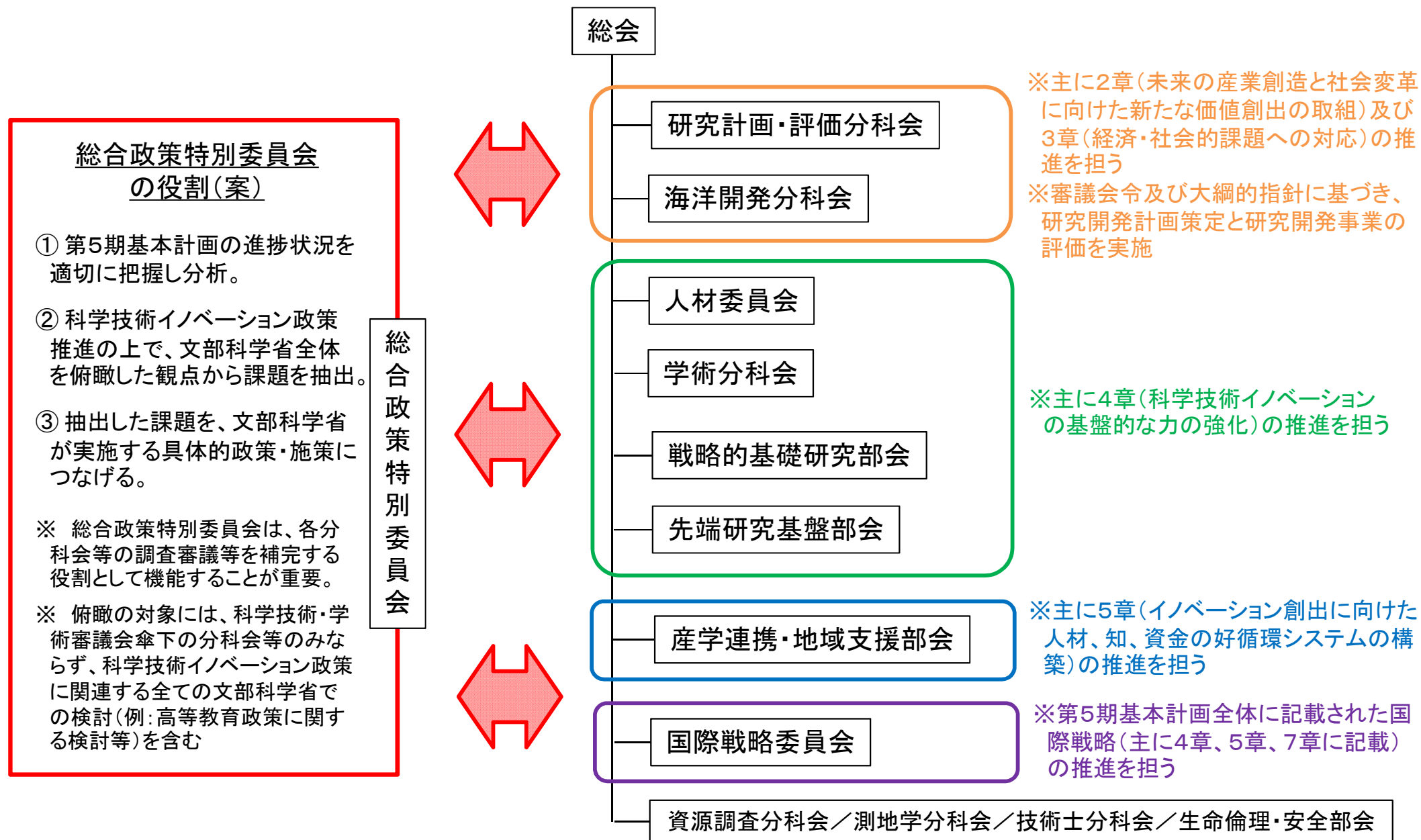
（背景）

- 科学技術イノベーションに関する今後 5 年間（平成 28～32 年度）の基本方針である「第 5 期科学技術基本計画」が本年 1 月に閣議決定された。当該計画は、本審議会（総合政策特別委員会）において検討・策定を進めた「我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について～ポスト第 4 期科学技術基本計画に向けて～」の課題認識、基本的考え方、具体的提案等が十分に盛り込まれたもの。
- また、第 5 期基本計画では、「基本計画を 5 年間の基本指針としつつ、毎年度『科学技術イノベーション総合戦略』を策定し、柔軟な政策運営を図っていく」、「計画の進捗及び成果の状況を把握していくため、指標や目標値を定め、恒常的に政策の質の向上を図っていく」といった、具体的なフォローアップの仕組みが盛り込まれた。総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）では、当該計画をフォローアップするための「科学技術イノベーション政策推進専門調査会」が設置されたところ。
- こうした状況を踏まえ、科学技術イノベーション政策の推進において重要な役割を担う文部科学省が、第 5 期基本計画を適切に推進し、CSTI での各種検討にも資するよう、本審議会において当該計画を強く意識した調査審議を進めていくことが肝要。

（本審議会における進め方（案）） ※別添参照

- 第 5 期基本計画が掲げる施策等の実施状況について、大学や国立研究開発法人といった研究現場における実態や、定量的指標の推移等も含めて把握・分析を行いながら、文部科学省の政策・施策の改善や提案につなげていく。
- その際、科学技術・学術審議会の各分科会等においては、第 5 期基本計画を踏まえ、各担当領域にて当該計画を具体化・実行していくための調査審議等を進め、その方向性や具体的取組を取りまとめ、フォローアップしていくことが望ましいのではないか。（例えば、研究計画・評価分科会において、第 5 期基本計画第 2 章及び第 3 章の記載事項を具体化する研究開発計画の作成を開始しているところ。こうした基本的指針の作成とフォローアップ作業を、第 4 章以降の記載事項を担当する分科会等でも進めていくことが望ましいと考えられる。）
- 加えて、第 5 期基本計画の推進状況を、全体俯瞰の観点からフォローアップしていくためには、総合政策特別委員会において機動的な調査検討を行っていくことが適切ではないか。

(別添1) 第5期基本計画の推進の観点からの科学技術・学術審議会分科会等の役割のイメージ



※上記図は、あくまでも第5期基本計画推進の観点からの各分科会等の役割や関係を示したものであり、各分科会等の調査審議事項は第5期基本計画推進の観点以外にも存在していることに留意。

(別添2) 第5期基本計画の推進に向けた検討スケジュールのイメージ

	平成28年度									平成29年度						
	4月	5月	6月	8月	10月	12月	1月	2月	3月	4月	6月	8月	10月	12月	1月	…続く
主要スケジュール	◇成長戦略、総合戦略閣議決定 ◇科技白書閣議決定			◇H29概算要求 ◇開発法人評価決定		◇H29予算案決定	◇第8期終了 ◇第9期開始			◇成長戦略、総合戦略閣議決定 ◇科技白書閣議決定			◇H30概算要求 ◇開発法人評価決定		◇H30予算案決定	
総会	◆基本計画推進開始			◆政府の予算・施策、各分科会等の状況報告			◆政府の予算・施策、各分科会等の状況報告(総政特成果物の報告等)		◆第9期キックオフ会合	◆政府の予算・施策、各分科会等の状況報告			◆政府の予算・施策、各分科会等の状況報告(総政特成果物の報告等)			
総合政策特別委員会	◆調査検討事項検討、全体俯瞰		◆全体俯瞰、横串課題抽出		◆テーマ別の深掘り検討(横串課題)			◆成果物の取りまとめ	◆全体俯瞰	◆全体俯瞰、横串課題抽出		◆テーマ別の深掘り検討(横串課題)		◆成果物の取りまとめ		
各分科会等	<p>(必要に応じ)総政特報告内容をH30要求等に反映するための検討加速</p> <p>各分科会等において、第5期基本計画を意識し、基本的指針作成やフォローアップ等の調査審議を実施 ※調査審議のスケジュール等は、各分科会等に委ねられる</p>															
(参考) 研究計画・評価分科会	◆研究開発計画骨子案の検討			◆研究開発計画素案の審議、新規課題の事前評価			◆研究開発計画案の審議		◆研究開発計画の決定	◆研究開発計画を踏まえた俯瞰的評価の開始						

(参考1) 総合政策特別委員会委員名簿

主査	濱口 道成	国立研究開発法人科学技術振興機構理事長
主査代理	庄田 隆	第一三共株式会社相談役
	新井 紀子	国立情報学研究所教授・社会共有知研究センター長
	伊地知寛博	成城大学社会イノベーション学部教授・学長補佐
	稲葉 カヨ	京都大学理事・副学長(男女共同参画・国際・広報担当)
	小野寺 正	KDDI株式会社取締役会長
		一般社団法人 日本経済団体連合会未来産業・技術委員会委員長
	春日 文子	国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー
	木村 廣道	東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション教室客員教授
		株式会社ファストラックイニシアティブ代表取締役
	五神 真	東京大学総長
	白石 隆	政策研究大学院大学学長
	竹山 春子	早稲田大学理工学術院教授
	知野 恵子	読売新聞東京本社編集局企画委員
	土井美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構監事
	永井 良三	自治医科大学学長
	西尾章治郎	大阪大学総長
	細野 秀雄	東京工業大学 元素戦略研究センター長
	松本 毅	株式会社ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント
	結城 章夫	山形大学名誉教授(前山形大学学長)

(参考2) 総合科学技術・イノベーション会議 専門調査会の構成

総合科学技術・イノベーション会議

- ① 科学技術に関する基本的な政策の調査審議
- ② 予算・人材等の資源配分方針等の調査審議
- ③ 国家的に重要な研究開発の評価
- ④ イノベーション創出に関する環境整備等の調査審議

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

- ・ 個別テーマとしてヨコのテーマ（主に第5期基本計画の4章、5章）を扱う。
- ・ 科学技術イノベーション政策を俯瞰する視点から、中期計画である基本計画の推進とフォローアップ、毎年度の科学技術イノベーション総合戦略の策定とフォローアップ等を行う。

重要課題専門調査会

- ・ 個別テーマとしてタテのテーマ(2章、3章)を扱う。

<専門調査会の下に戦略協議会を設置>

エネルギー※

次世代※
インフラ

※ 各協議会の座長、副座長クラスの有識者が専門調査会 委員を兼任

生命倫理専門調査会

<調査・検討事項>

生命科学の急速な発展に対応するため、ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律第4条第3項に基づく特定胚の取扱いに関する指針の策定等の生命倫理に関する調査・検討

評価専門調査会

<調査・検討事項>

- ・ 評価のためのルール作り
- ・ 国家的に重要な研究開発の評価

基本計画専門調査会

<調査・検討事項>

科学技術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国内外の情勢を踏まえて、科学技術の振興に関する基本的な計画（第5期科学技術基本計画）について調査・検討を行う。

(参考3) 総合科学技術・イノベーション会議 科学技術イノベーション政策推進専門調査会 委員名簿

会長	原山 優子	総合科学技術・イノベーション会議議員
	久間 和生	同
	上山 隆大	同
	内山田 竹志	同
	小谷 元子	同
	十倉 雅和	同
	橋本 和仁	同
	大西 隆	同
	(専門委員)	
	江村 克己	日本電気株式会社 執行役員
	五神 真	東京大学 総長
	新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	菅 裕明	東京大学大学院理学系研究科 教授
	角南 篤	政策研究大学院大学 教授・学長特別補佐
	玉城 絵美	H2L株式会社 創業者、早稲田大学 助教
	野路 國夫	株式会社小松製作所 代表取締役会長
	濱口 道成	国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長
	林 いづみ	桜坂法律事務所 弁護士
	林 千晶	株式会社ロフトワーク 代表取締役
	宮浦 千里	東京農工大学 副学長
	(アドバイザー)	
	クリスティーナ・アメージャン	一橋大学大学院商学研究科 教授
	イリス・ヴィーツォレック	IRIS科学・技術経営研究所 社長